



小田原なぎさ会通信

No.28

2020年4月1発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

＜中期的な活動指針＞

広げよう！『活動の輪』

理事長 乾 恒雄



昨年度は日本各地での猛暑や台風被害に加え、全世界的に感染拡大した新型コロナウイルスが猛威を振るい、今もなお私たち人類はこのウイルスに翻弄されています。個人にできることは小さなことかもしれませんが、「世界中のみんなが力を合わせて、何とか早く収束させていかねば！」と強く思います。

さて、昨年度は『今までの取組みを踏襲し、その内容の更なる充実を目指す』ことを基本方針に掲げ、順調に活動を推進しました。多くのご協力・協働に深く感謝を申し上げます。ありがとうございます。特に、新しい枠組みとして開始した「医療・福祉教育機関との連携事業」の推進に力を入れた1年になりました（詳細次ページ参照）。また、5年前に取得した神奈川県指定 NPO 法人の更新に引続き、小田原市指定 NPO 法人の更新も無事終了しました。法人の具体的な活動としてその他には、恒例になりつつある畑体験に始まり、バス旅行・なぎさ祭・地域交流クリスマス会などのイベントを盛込みながら、施設運営事業を活発に推進しました。特に「通所メンバーとの面談充実化とその結果の職員間共有」に力を入れ、今まで以上に通所メンバーさん達の想いに寄り添った支援に努めました。また、通所メンバーさん達と日々直接的に接触している職員の資質向上に向け、特に内部での研修に力を入れています。普及啓発事業では、関連団体と連携した啓発イベントの開催やホームページの充実化などと共に、リーフレットや機関紙を活用した個別の啓発活動にも注力しました。この結果として、新しい活動仲間（新規入会者）が増えてきています。これらの取組みを通して、「障害者へのよりよい自立支援」と「共に生きる社会の実現」につながるように、粘り強く活動を進めております。



南足柄 春木径
3/16 撮影

標記の「広げよう！『活動の輪』」は、昨年度に策定した中期的な活動指針です。今、そして今後も更に大切になっているのが普及啓発事業と捉え、今年度も注力していきたいと考えております。多様性の社会の中で、「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らしていく地域・社会を作り上げていく動き」を広げていきたいと思っています。この推進強化に向け、上記「広げよう！『活動の輪』」を合言葉として、私達の活動にご理解と共感を持っていただける仲間を増やしていきます。皆さんもこのような市民・社会活動を私たちと一緒に推し進めていきませんか？！是非とも会員になっていただき、活動の輪を広げていく仲間になっていただけると嬉しく思います。今年度もバランス感覚と共に発展の精神を大切にしながら、色々なことにチャレンジしていきたいと思っています。

これからも私たちの活動に、ご理解とご協力・協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの運営施設である「小田原なぎさ作業所」での活動状況や各種イベントの様子などを中心に紹介させていただきます。

作業所での活動紹介（生活編 2：作業所内での軽運動）

作業所では、毎日のプログラムの中で午後の作業が始まる前にラジオ体操を行っています。2020年2月からは、新たに午前中の休み時間を使って「リフレッシュ体操」も始めました。主にストレッチを多く取り入れた体操をすることで心身ともにリフレッシュして、その後の作業に臨んでいます。



▲毎日午後の作業が始まる前に行っている「ラジオ体操」



▲新たに始めた「リフレッシュ体操」
体をねじったり、背筋を伸ばして気持ちいい～♪

心も体もリフレッシュして寝付きも良くなりました。

自分の家でもやるのですが、作業所でのストレッチはやっていて気持ちいいです。

メンバーANさん

メンバーT.Uさん

医療・福祉教育機関との連携強化

連携事業及び普及啓発事業の一環として、『従来と枠組みを変えた形での学生実習の受入』を昨年度から開始しました。国際医療福祉大学（①看護学科及び、②作業療法学科の「臨地実習」）と、神奈川県立平塚看護大学校（③「臨地実習」、④「地域密着健康教育」通年学習）の2機関です。



▲一緒に作業する学生さん

臨地実習とは、まさに現場でメンバーさん達と時を共に過ごす体験からの学びを目指すものです。以前より、病院内だけでなく広く地域社会に入り込んで活動できる医療・福祉職が求められている中、当法人のような地域活動団体(社会的資源)での実習を通して、その理念や位置づけ・実際の活動内容を体験的に理解し、学びや気づきにつなげていただければ嬉しいとの想いから連携強化に臨みました。

地域密着の通年実習では、上記臨地実習と共に役員や職員との会話も通して更に深く私たちの活動に関わる中で、地域での支援実態を多面的に学んでいきます。今回は参加学生さん達が自主的に屋外活動としてバーベキュー大会を企画・運営してくれ、メンバーさん達と今までとは一味違う交流を楽しみました。

<学生さん達からいただいたフィードバック(抜粋)>

＊個々人を尊重し、自己決定を大切にした支援、＊自主性や参加・協力意識の向上、
＊利用者の持つ力を引き出し活かす努力、＊イベント等による社会との交流やつながりの機会、＊居場所作り、等を大切に活動していることが伝わってきた。
そして、依存ではなく自立につなげる支援の深さを感じた。

多くの学生さん達と色々な話ができて良かったです。また、バーベキューでは肉や野菜を焼いたり、焼きそばを作ったり、普段できないことをみんなでやって楽しかったです。焼きそばおいしかった！ メンバー T.Kさん、K.Yさん



▲バーベキュー大会



9/21 第6回なぎさ祭開催



毎年恒例開催の「なぎさ祭」も昨年度で6回目となりました。

今回のプログラムはメンバーさんによる詩の朗読や歌の発表、ジェスチャークイズと盆踊りが中心です。メンバーさんの隠れた才能が見られた発表はとても素晴らしく、富士和会さんの太鼓に合わせて南鴨宮レクレーション部の方々と一緒にみんなで踊る盆踊りは今回も最高に盛り上がりました。

メンバーさんの発表



▲「め組の人」は振り付けもたくさん練習しました。A.Nさん、K.Hさん、T.Hさん



◀ K.Mさんは大好きなご主人に向けて「だんな様」を熱唱!!!



▲ペンネームも持つ詩人のM.Mさん

◀ なぎさのテノール M.Sさんの歌声は圧巻!

みんなで輪になって盆踊り



司会のM.Hさん・K.Hさんお疲れ様でした!

司会を緊張せずうまく出来たと思います。また来年も参加したいです。歌を歌って気持ちがすっきりしました。とても良い体験でした。

メンバーM.Hさん
メンバーK.Mさん

楽しい音楽会参加



前回までの“おとなしいなぎさメンバー”から脱皮! 今回は、“歌って踊れるなぎさメンバー”として、練習の成果を十分に発揮しました。



今年の発表曲は歌って踊って楽しかったです。司会は緊張しましたが良かったです。メンバーR.Tさん



高校生の時テレビで見ていたラッツ&スターの歌を大勢の前で歌うようになるのは夢にも思いませんでした。アフロヘアーがお気に入りのメンバーK.Hさん

クリスマス地域交流会



12/20にクリスマス地域交流会を開催しました。地域の方やボランティアさんと一緒に食事をしたり、ゲームで盛り上がり、とても和やかな楽しい交流のひと時を過ごせました。



みんなでピザとサラダにケーキをいただきました。ケーキはボランティアMさんの手作りです。ありがとうございました。職員 M.Oさん



事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベントを企画しております。
会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局まで！！

●今までの主な活動（R1 年 9 月～R2 年 3 月）

10/ 1	小田原なぎさ会通信 No.27 発行	11/29	楽しい音楽会参加
10/ 4	赤い羽根共同募金活動参加	12/14	ハートフルキャンペーン参加
10/ 5	おだわらハートフェスタ in ハルネ参加	12/20	クリスマス地域交流会開催
10/27	障がい者レクリエーション大会参加	2/20	第2回ネットワーク会議 B 開催
11/10	新田公民館文化祭参加	3/11	第3回理事会開催
11/15	第2回ネットワーク会議 A 開催	3/16	畑体験(植付)実施
11/24	UMECO 祭り参加		

●今後の主な活動予定（R2 年 4 月～R2 年 9 月）

4/ 1	小田原なぎさ会通信 No.28 発行	7/ 上旬	畑体験(収穫祭)実施
4/23	令和2年度第1回理事会開催	7/下旬	第1回バス旅行開催
4/下旬	畑体験(管理)実施	8/ 8	新田公園夏祭り参加
5/22	2020年(令和2年)度通常総会開催	9/ 1	小田原なぎさ作業所自主防災訓練実施
6/17	第1回地域ネットワーク会議 A 開催	9/中旬	障害者書道・写真全国コンテスト参加
6/中旬	畑体験(収穫)実施	9/17	第2回理事会開催
6/28	富士見小学校区小田原いっせい総合防災訓練参加	9/26	「なぎさ祭(第7回)」開催
7/15	第1回地域ネットワーク会議B開催		

●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

★会員大募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！！

会員になっていただくことだけで、障害者の支援活動に参加していただけます。大切に考えていることは、皆さんの想いや心であり、仲間意識なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：(個人) 入会金 1,000 円 年会費 3,000 円 (団体) 入会金 5,000 円 年会費 10,000 円
- ・賛助会員：(個人) 入会金 1,000 円 年会費 1,000 円/口 (団体) 入会金 5,000 円 年会費 5,000 円/口

*事務局へご持参、金融機関へお振込みの他、新たに口座から自動引き落としも選択できるようになりました。

★皆さまからのご寄附による、ご支援や活動参加をお願いいたします！！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと、申告することで国税と地方税をあわせて、寄附金額の最大50%が税額から控除されます。

法人からご寄附をいただきました場合にも、一般寄附金額の損金算入限度額とは別に、別枠の損金算入限度額が設けられておりますので、トータルの損金算入限度額が拡大されます。

<<令和元年度（H31 年 4 月 1 日～R2 年 3 月 31 日）に頂戴しました寄附金のご報告>>

件数 10 件 総額 427,000 円 ご協力いただきましたみなさま、ありがとうございました。

*寄附金は下記どちらかの銀行口座へお振込みいただくか、NPO 法人事務所へご持参願います。

尚、寄付金受領証明書を発行する際に、ご住所・ご氏名が必要なため、先ずは事務局にご連絡願います。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ) オダワラナギサカイ

*他銀行から振り込みの場合 (店名)〇九八(ゼロキュウハチ) (店番)098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店(普) 0226591 トクヒ) オダワラナギサカイ

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか

右のQRコードをスキャンでもアクセスできます

